

投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 佐々木良作 (都市河川係長 糟谷昌俊)	内線	4408 (4417)
------	-------	---------------------	-------------------------------	----	----------------

事業種目	河川	事業採択年度	S43		現計画	再評価時点
事業名	高潮対策事業 (二)大谷川水系大谷川	着工年度	S43	総事業費	43億円	57億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	10億円	24億円
事業区間	相生市相生			完成予定年度	H20	-
所在地	相生市			進捗率 (内用補進捗率)	37%(100%)	15%(55%)

事業の目的

事業内容

<p>播磨灘沿岸では、昭和39年9月台風20号、昭和40年9月台風23号で高潮による浸水被害に見舞われた。当該河川においては、最近では平成3年9月台風19号(浸水面積1.9ha、浸水家屋42戸)で大規模な浸水被害に見舞われている。</p> <p>このため、当該地域の浸水被害を防止するため、高潮被害を防御するとともに、昭和51年9月の洪水に対応した治水安全度1/30を目標に改修を行い、地域住民の安全・安心な生活環境を確保するものである。</p>	<p>計画流量 Q = 40m³/s (治水安全度1/30：河口地点)</p> <p>実施内容 L = 250m W = 11m 水門、排水機場、築堤、掘削、護岸、橋梁3橋等</p>
---	--

進捗状況	<p>昭和43年度に着手し、これまでに河口から防潮水門付近までの防潮堤を完了させ、河積拡大を行っている。</p> <p>再評価時点(H10)からH15までに、用地買収を完了し、水門の下部工に着手したところであり、今後も事業の重点化と効率的な事業執行に努め、平成20年度に事業を完了させる予定である。</p> <p>また、河川整備計画を現在検討作業中である。</p>
------	--

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	・相生市相生地区の市街地を浸水被害から守るため、水門、排水機場、築堤、護岸、横断構造物の改築等の河川改修工事を実施しており、残事業を早期に完了させるため、継続的な整備を実施する必要がある。
(2)有効性・効率性	<p>・ B / C = 8 . 2</p> <p>・ 高潮時の水位上昇に伴う海水の遡上を防止するための防潮水門と防潮堤、及び水門閉め切り時の洪水を排水するための排水機場と遊水池を整備することにより高潮対策を行う。</p>
(3)環境適合性	<p>・ 地域住民に慣れ親しまれた河川周辺の景観をできるだけ維持するため、防潮水門型式をライジングセクターゲート型式とした。</p>
(4)優先性	<p>・ 残事業としての水門、排水機場、護岸整備を早期に完成させることにより、沿川市街地を浸水被害から防御することができることから当該事業の優先性は高く、また今後5年以内に事業完了させることが可能である。</p>

再々評価の結果	事業継続	左の理由	上記理由により、事業継続が妥当である。
---------	------	------	---------------------